



主要な施策とその取組

1. 美しいまちづくり

【美しい環境づくりについて】 住宅用太陽光発電システムへの助成、景観まちづくりの推進を図るとともに、違反広告物の除却や指導に取り組む。産業廃棄物の処分については処分場への立入調査の実施など、厳正な監視と行政指導を行う。

【身近な生活環境づくりについて】 公共下水道事業の経営健全化に向け、今年度から3か年をかけて地方公営企業会計の導入を行い、今後必要とな

る費用の平準化や、使用料の適正化を進める。都市公園については、下田公園入口にある公衆トイレの改修、敷根公園のトイレの洋式化及び健康広場の改修を実施。市営住宅は適正な維持管理に努めるとともに、改修・解体等の詳細スケジュールを検討。



市議会3月定例会での
楠山市長

2. 人が輝くまちづくり

【自ら学ぶ人づくりについて】 公民館については、地域住民に説明と協議を行い、統廃合を推進。国指定重要文化財大日如来坐像の修復及び収蔵庫の改修に対して助成。地域のスポーツ活動の機会を創出するとともに、スタンドアップパドルボードなどのマリンスポーツの普及、それらを通し、世代を超えた交流と健康づくりに努める。

【未来の人づくりについて】 就学前教育については、保育所、幼稚園、認定こども園の交流や連携を通じて、充実に努める。学校教育については教

育資金利子補給事業、就学奨励金の給付事業に加え、児童・生徒の郷土を愛する心を育成する「体験プログラム事業」への助成を実施するとともに、「英語力向上プロジェクト」事業を展開する学校への助成を実施。学校再編整備については、関係者の声を聴きながら、早期の実現を目指す。



3. 活力あるまちづくり

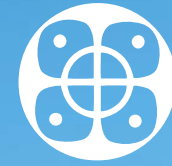
【元気なまちづくりについて】 稲穂地区では中山間地域等直接支払制度を利用した集落での共同取組作業を継続。有害鳥獣被害対策については、補助事業も活用して被害の軽減に努める。稚魚、稚魚の種苗放流事業に助成し、安定供給を推進。観光振興については、各種観光イベントを実施するとともに、下田の魅力向上、情報発信に取り組む。商業については、「下岡蓮杖プロジェクト」を展開し、写真ブームを取り込んだ誘客や情報発信、「地域おこし協力隊」制度の活用、下田商工会議所青年部が制作したマスコットキャラクター「ぺるりん」によるPR等、地域力向上に努める。中小企業の金融施策については、小口資金融資への利

子補給、中小企業の資金繰り対策等の支援を実施。

【交流を促す基盤づくりについて】 伊豆縦貫自動車道河津下田道路のI期区間では、地元説明会を開催し、用地交渉を進め、II期区間でも、下田側における用地交渉を進める。避難港である下田港は、外防波堤整備事業が進められており、更なる事業推進の要望活動を行う。地域公共交通会議については、交通網の再編を目指し、地域の実情に合わせた交通体系を検討する。



平成28年度 施政方針 予算概要



3月定例会市議会において市長が表明した平成28年度の市政運営の基本となる考え方、施政方針と予算概要について紹介します。

問合せ先 企画財政課財政係 ☎23911

予算編成の 基本的な考え方

本市経済は、緩やかな回復傾向にあり、平成26年度決算における歳入では市税が増加し、歳出では社会保障関連経費が増加したものの、公債費が大きく減少したため、一般会計の経常収支比率は86.4%と、前年度に比べ0.4ポイント改善しました。

平成28年度は、歳入で市税収入や地方消費税交付金の増額が見込まれる一方、地方交付税の減額を考慮する必要があるため、社会保障関連経費などの更なる増加へ対応する必要があります。徹底した歳出のスリム化と歳入の確保を継続し、安定的かつ健全な財政基盤を確立、維持していくことが重要です。

健全な財政を維持しつつ政策課題を解決していくため、平成28年度予算編成の重点事業を「観光振興・経済活性化事業」及び「防災・安全対策事業」と定め、下田市版総合戦略の基本目標の実現に向け、既存事業を再検討するとともに、経常経費は対前年度90%

の目標を設定し、予算編成に取り組みました。

また、成長と分配の好循環の実現に向けて、一億総活躍国民会議が取りまとめた「一億総活躍社会の実現に向けて緊急に実施すべき対策等」において、消費喚起・安心の社会保障に対応する「年金生活者等支援臨時福祉給付金」や、地方創生の本格展開を図る取組など、平成27年度3月補正において、国の補正予算に対応する事業の実施などにより、平成28年度予定事業の一部を前倒しすることで、切れ目のない予算執行に取り組みます。

「下田市将来人口ビジョン」 「下田まち・ひと・しごと創生総合戦略」

総合戦略では4つの基本目標を掲げています。

目標1「下田のプレゼンス向上のための観光づくり」

「魅力発信プロジェクト」として広範囲に本市の情報を発信する事業等を展開していきます。

目標2「下田の魅力を活かした交流産業づくり」

新規ビジネス応援プロジェクトの支援をします。

目標3「下田の未来に つなげる人づくり」

下田版ネウボラプロジェクトとして、妊娠期から就学前までの子どもの健やかな成長・発達の支援を中心として、保護者である母親や父親など家族全体の心身の健康サポートを含めた、子育て環境の充実を図ります。

目標4「下田に暮らし続けられる地域づくり」

健康増進プロジェクトとして、医療や介護が必要になる前の市民の健康的な生活を守る各種予防対策事業に取り組んでいきます。

これらの事業を推進するとともに、PDCAサイクルによる検証を行い、改善を繰り返すことにより、効果的に事業を推進していきます。

※次ページ以降、平成28年度の主要施策を第4次下田市総合計画の施策体系に沿って紹介します。